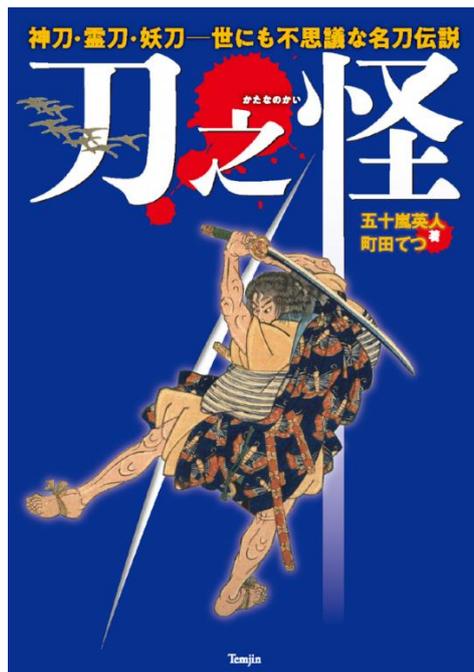


各 位

2023年9月12日
株式会社天夢人

貴重な名刀に伝えられる世にも不思議な妖刀伝説！
歴史&刀剣ファンに贈る、33振りの伝承から浮かび上がる歴史秘話。
『刀之怪 神刀・霊刀・妖刀一世にも不思議な名刀伝説』発刊

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:藤岡 功)は、2023年9月12日に、『刀之怪(かたなのかい) 神刀・霊刀・妖刀一世にも不思議な名刀伝説』を刊行いたしました。



名刀に伝わる妖怪退治、奇想天外な逸話、不気味な物語、心に染みる哀話など33振り約40話を収録。とりわけ邪神・悪鬼・幽霊・山姥・大蛇・蜈蚣(むかで)・雷神・土蜘蛛などの妖怪退治の伝承は、歴史的背景を掘り下げながら物語醸成の核心に迫ります。

それぞれの名刀伝説は、物語と解説部分を2つのパートに分けて読みやすくし、歴史人物、事件、専門用語にはふりがなを振り、難解な刀剣用語などは脚注で詳説して

います。徳川家康・織田信長・豊臣秀吉・伊達政宗・源義経・源頼光・立花道雪らの剛勇が愛刀に寄せた熱い思いもひしひしと伝わってくることでしょう。

また、セレクトした33振りの刀剣は「鬼丸国綱」「童子切安綱」「姫鶴一文字」「数珠丸恒次」「大典太光世」「骨喰藤四郎」「薬研藤四郎」「南泉一文字」「圧切長谷部」など、刀剣史に燦然と輝く名刀揃い。刀剣の解説にも紙幅を割き、刀剣をあまり知らない歴史ファンにもわかりやすい読み物となっています。名刀に秘められた伝説を知ることで、歴史秘話の新たな側面が浮かび上がってくるはずです。

【目次】

●其の壱 神剣

草薙剣——日本武尊が帯びた神剣で日本の守り刀
ソハヤノツルキ——島原の乱を鎮圧した幕府鎮護の太刀
小烏丸——八咫鳥が桓武天皇に授けた世紀の奇刀
小狐丸——稻荷明神の相鎚で鍛えた宗近入魂の御剣
鬼丸国綱——鞘から抜け出し、火鉢に宿る小鬼を成敗
薬研藤四郎——主人の命を惜しみ切腹を拒んだ短刀
姫鶴一文字——磨上を思いとどまらせた刀霊の懇願
祖師野丸——数百年生きた狒狒の妖怪を成敗した悪源太の愛刀
螢丸——激戦の打疵を螢が修復した阿蘇神社の宝剣

●其の弐 霊剣

山姥切国広——岩窟に逃げた人喰い山姥を一刀両断
祢々切丸——自ら宙空を舞い妖怪ねねを追い詰めた神刀
鉦切長光——鉦の台と刃、化け物を同時に斬った小太刀
鬼切——数々の物語に登場してきた源氏重代の宝刀
火車切広光——死体を盗む妖怪「火車」を斬った豪刀
蜈蚣切——大百足退治の褒美となった龍宮の宝刀
蜘蛛切——平家を滅ぼした壇ノ浦で源義経が佩用
ニッカリ青江——殿中で垂涎の的となった化け物斬りの脇指

●其の参 破邪剣

数珠丸恒次——身延山で日蓮を守った「破邪顕正」の太刀
童子切安綱——酒呑童子を見事仕留めた「極上々」の太刀
陰陽丸——大太刀が江戸市中を巡行、狐狼狸を調伏
物吉貞宗——家康に天下をもたらした招運の脇指
村正——徳川家康が恐れ、倒幕をもたらした妖刀

大典太光世——化け物が退散し、鳥も近づくことを憚る魔剣
雷切丸——切先・小鎬・棟に雷神斬りの名残を刻む脇指
五虎退——神威を放つ吉光の焼刃に凶暴な五匹の虎が退散
疱瘡正宗——病魔退散の霊力が信じられた正宗の「雪のむら消え」

●其の肆 無双剣

圧切長谷部——茶坊主を難なく押し斬った信長の愛刀
骨喰藤四郎——斬る真似だけで相手の骨を砕いた骨喰伝説
同田貫正国——戦国時代、兜割り伝説が生まれた剛剣
燭台切光忠——光圀が「たって」と所望した 信長の愛刀
小夜左文字——顔も知らぬ親の仇を暴いた運命の短刀
南泉一文字——試斬の瞬間「刀が折れた」と錯覚するほどの斬れ味
波遊ぎ兼光——兼光と信国の名で伝えられた「波遊ぎ」伝承の謎
コラム◎『享保名物帳』／『集古十種』／鬼斬り伝説

●其の参 破邪剣より

・数珠丸恒次、童子切安綱、陰陽丸、物吉貞宗、村正、大典太光世、五虎退ほか。



●其の式 靈劍より

- ・ニッカリ青江——殿中で垂涎の的となった化け物斬りの脇指

「この子を……、どうか抱いてくださりませ。お願いでございます……」

わずかに石灯籠に照らされた夜道で、女の声を聞いた中島修理太夫は、「出たな化け物、やはり噂は本当だったのか！」と腰の脇指に手をかけた。

中島修理太夫は近江国（滋賀県）の瀬田郡八幡山（現・滋賀県近江八幡市）を治めていた領主で、領民から夜な夜な赤子を抱いた女の化け物が出るという話を聞いた。腕に覚えのある修理太夫は、退治してやろうと夜道を探し回っていたのである。頭巾をかぶった女を睨み見据えると、あろうことか、抱いていたはずの赤子が宙を飛んで音もなく近寄ってきた。「南無三！」すかさず赤子に「太刀浴びせると、蠟燭の灯を吹き消すように赤子は消えてしまった。」

すると今度は女がものすごい速さで滑るように近づいて来ると、頭巾を取っ



万治元（1658）年、幕府軍配の万石で入封以来、近世を通じて丸亀藩御陰謀の原城となった丸亀城（香川県丸亀市）の天守。重要文化財で、現存12天守の一つに数えられる。

ニッカリと凄絶な笑い顔を残して消えた女の化け物

殿中で垂涎の的となった 化け物斬りの脇指



113 資料ニッカリ青江

112

- ・ニッカリ青江／丸亀市立資料館蔵

ニッカリ青江



丸亀市立資料館蔵 重要文化財指定
 編製 金象鋼 形勢五段六門互
 重要度高品・名物・全長76.8cm・刃長60.3cm・尺91.3cm

117 資料ニッカリ青江

116

【著者プロフィール】

五十嵐英人(いがらしひと)

1957年、新潟市生まれ。早稲田大学教育学部卒。書店員や業界紙記者を経て、42歳から歴史ライターとして活動。とくに城、刀剣、伝説を専門とする。趣味は城歩き。これまでに訪ねた城跡は100以上。全国の名城制覇をめざす。

町田てつ(まちだてつ)

1955年、前橋市生まれ。日本大学芸術学部卒。編集者・エディトリアルデザイナー。歴史を中心とした学芸書、ウィークリーマガジン、旅・釣り・猫・鉄道・日本刀・書・美術などの趣味書編集を担当し、多くの書籍の装丁も手掛ける。『Goody』『いいとこ見つけた！』『旅と鉄道』『SINRA』などの副編集長も歴任。

【書誌情報】

書名:『刀之怪 神刀・霊刀・妖刀―世にも不思議な名刀伝説』

仕様:A5判 224ページ

定価:2,200円(本体2,000+税10%)

発売日:2023年9月12日

全国書店、オンライン書店のAmazonなどで発売中。

<https://amzn.to/3NE9PS7>

【株式会社天夢人】 <https://www.temjin-g.co.jp/>

2007年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月21日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:野口

Tel: 03-6837-4680 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://www.temjin-g.co.jp/>